

(対象期間: 2017/12/11 ~ 12/15)

[株式市場] ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日 ~ 2017年12月15日)



[株式市場]

週初は米連邦公開市場委員会 (FOMC) やインドネシア中央銀行 (BI) の政策決定会合を前に狭い値幅での推移となりました。FOMCは市場の予想通り0.25%の利上げを決定したものの同時に公表された金利見通しに変更がなかったことや、11月のセメント販売が前年同月比で大幅に回復したことなどを好感し、インドネシア株式市場はインフラ関連株などを中心に上昇しました。

2017/12/8	2017/12/15	変化率
6,030.96	6,119.42	+1.47%

[債券市場] インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日 ~ 2017年12月15日)

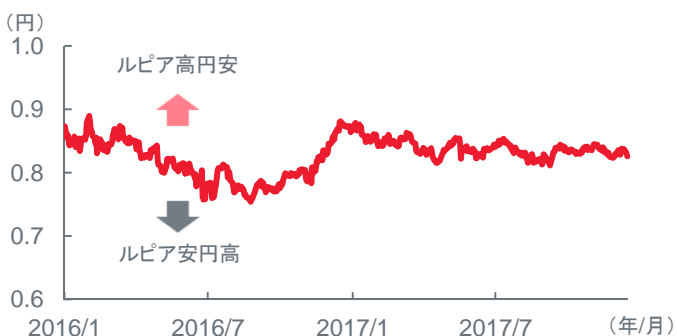


[債券市場]

週の前半は、FOMCおよびBIの政策決定会合を控え様子見姿勢が強まりました。FOMCでは市場の予想通り0.25%の利上げを決定し、BIは政策金利を現状維持としましたが、市場では大きな影響はありませんでした。インドネシア債券市場は狭い値幅のなか底堅い動きとなり、前週末比で利回りは低下 (価格は上昇) しました。

2017/12/8	2017/12/15	変化幅
6.561	6.493	-0.068

[為替市場] インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日 ~ 2017年12月15日)



[為替市場]

FOMCとBIの政策決定会合を前に狭いレンジ内での推移となりました。インドネシア債券市場への資金流入などを背景に、ルピアは対米ドルでは底堅い動きとなりましたが、対円では円高の進行により下落しました。

2017/12/8	2017/12/15	変化率
0.838	0.826	-1.41%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。